
第2編 市民アンケート実施結果

(1) 調査目的

多摩市では多摩市の将来都市像とまちづくりの基本的な方向性を示し、市民と行政の共通の目標として、総合的・計画的にまちづくりを進める上での根幹となる第五次多摩市総合計画の策定に取り組んでいます。

この計画は、「目指すまちの姿」や取り組みの方向性を示し、将来の多摩市をより良いまちにするためのものです。そのために、「市民主権」の考え方のもとに、まちづくりの担い手が互いの役割を認識し、それぞれの役割を果たすことができるよう、これからのまちづくりにおける市民と行政の役割を示していきます。

本調査は、計画の策定にあたり、市民、市民団体の皆様のご意見をお聞きし、その声を反映させるために実施しました。

(2) 調査概要

① 調査対象

- ・市民 : 市内に居住する「18歳以上」の市民の中から、2,000人を無作為に抽出し、調査対象としました。
- ・市民団体 : 277団体の地域団体、市民団体を調査対象としました。

② 調査方法

郵送配布、郵送回収方式

③ 調査期間

平成22年10月

④ 回収状況

- ・市民 : 371票の回収 (回収率 18.6%)
- ・市民団体 : 106票の回収 (回収率 38.3%)

第2章

調査結果

市民または地域団体が、今後、より主体的に取り組んでいく必要のあるまちづくりの分野（政策）は、「健康・医療」と回答している割合が57.4%と最も高く、次いで、「防犯、防災、交通安全」（52.8%）、「高齢福祉」（47.4%）、「子育て・子育て」（43.7%）、「産業振興、雇用、観光、都市農業」（31.5%）と回答している割合が高くなっています。

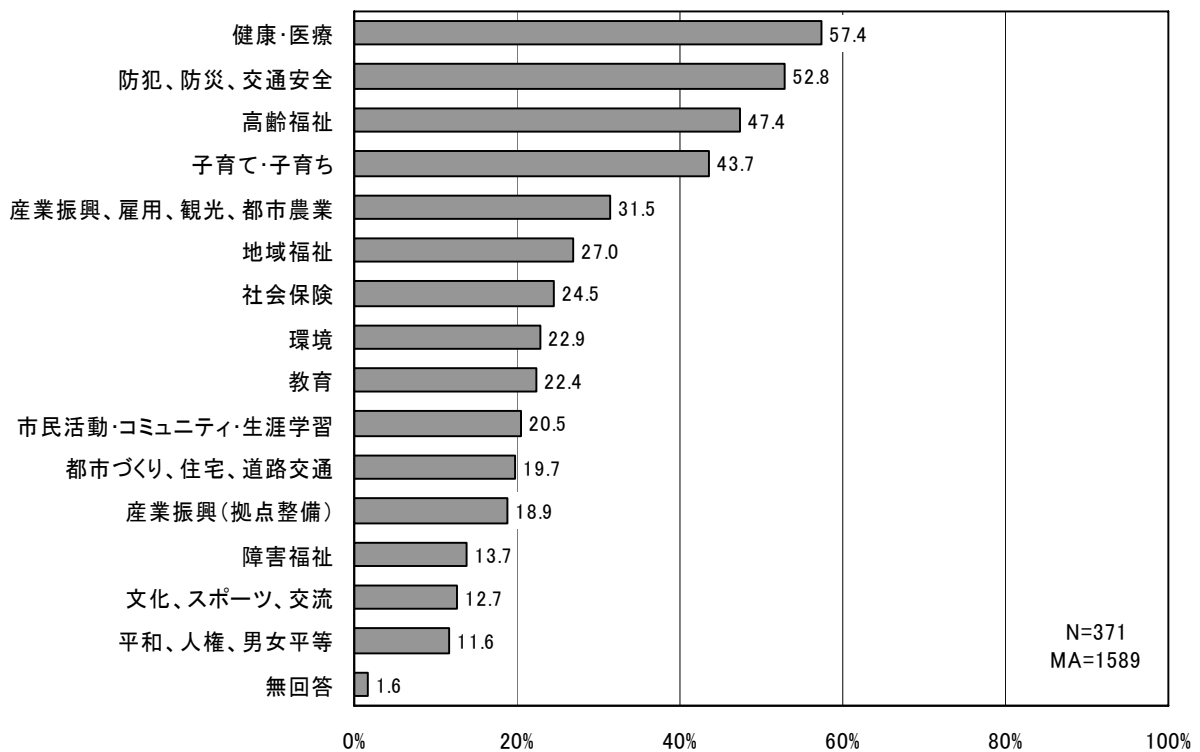


図 2-1 市民または地域団体が、今後、より主体的に取り組んでいく必要のあるまちづくりの分野（政策）（市民アンケート問 2-1（〇は 5 つまで））

【参考】市民アンケート結果における回答者の属性

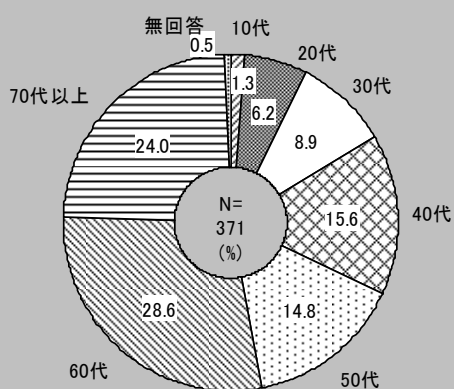


図 2-2 年代
（市民アンケート問 1-1（〇は 1 つ））

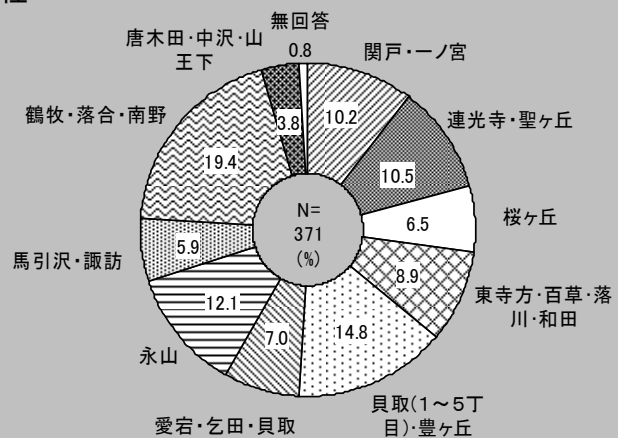


図 2-3 居住地
（市民アンケート問 1-2（〇は 1 つ））

	子育て・子育て	教育	健康・医療	地域福祉	高齢福祉	障害福祉	社会保険	市民活動・コミュニティ・生涯学習	文化、スポーツ、交流	平和、人権、男女平等	産業振興、雇用、観光、都市農業	産業振興（拠点整備）	防犯、防災、交通安全	都市づくり、住宅、道路交通	環境	無回答
10代	20.0	40.0	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	60.0	80.0	0.0	60.0	0.0
20代	56.5	39.1	34.8	13.0	26.1	8.7	8.7	13.0	8.7	4.3	26.1	4.3	47.8	26.1	26.1	4.3
30代	66.7	36.4	45.5	12.1	39.4	15.2	21.2	12.1	21.2	9.1	45.5	18.2	48.5	27.3	15.2	0.0
40代	41.4	29.3	56.9	31.0	29.3	12.1	24.1	20.7	20.7	10.3	37.9	27.6	48.3	19.0	17.2	1.7
50代	45.5	12.7	52.7	25.5	40.0	18.2	16.4	21.8	10.9	10.9	38.2	25.5	52.7	16.4	25.5	0.0
60代	43.4	18.9	61.3	27.4	62.3	14.2	30.2	30.2	6.6	14.2	28.3	18.9	56.6	18.9	27.4	0.9
70代以上	34.8	16.9	66.3	33.7	56.2	13.5	29.2	13.5	13.5	11.2	23.6	11.2	51.7	20.2	20.2	3.4

※1位：白抜き文字、2位：濃い網掛け、3位：薄い網掛け



図 2-4 年代別の市民または地域団体が、今後、より主体的に取り組んでいく必要のあるまちづくりの分野（政策）（市民アンケート問 2-1×問 1-1）

	子育て・子育て	教育	健康・医療	地域福祉	高齢福祉	障害福祉	社会保険	市民活動・コミュニティ・生涯学習	文化、スポーツ、交流	平和、人権、男女平等	産業振興、雇用、観光、都市農業	産業振興（拠点整備）	防犯、防災、交通安全	都市づくり、住宅、道路交通	環境	無回答
関戸・一ノ宮	34.2	34.2	57.9	28.9	50.0	15.8	31.6	10.5	10.5	34.2	28.9	21.1	44.7	21.1	26.3	0.0
連光寺・聖ヶ丘	38.5	10.3	69.2	7.7	51.3	15.4	25.6	20.5	12.8	10.3	38.5	30.8	51.3	28.2	23.1	2.6
桜ヶ丘	41.7	37.5	58.3	33.3	50.0	16.7	20.8	29.2	12.5	0.0	20.8	16.7	54.2	12.5	29.2	0.0
東寺方・百草・落川・和田	48.5	18.2	54.5	24.2	48.5	18.2	21.2	21.2	6.1	6.1	18.2	15.2	51.5	15.2	33.3	3.0
貝取(1～5丁目)・豊ヶ丘	49.1	14.5	56.4	32.7	40.0	12.7	29.1	21.8	16.4	10.9	30.9	12.7	63.6	21.8	29.1	1.8
愛宕・乞田・貝取	46.2	19.2	50.0	19.2	65.4	15.4	26.9	26.9	3.8	7.7	50.0	7.7	53.8	23.1	23.1	0.0
永山	51.1	24.4	46.7	35.6	57.8	13.3	31.1	8.9	11.1	13.3	33.3	31.1	64.4	17.8	20.0	0.0
馬引沢・諏訪	31.8	18.2	54.5	22.7	18.2	9.1	9.1	22.7	22.7	4.5	31.8	27.3	45.5	22.7	18.2	9.1
鶴牧・落合・南野	43.1	22.2	65.3	30.6	41.7	12.5	19.4	26.4	13.9	9.7	30.6	13.9	40.3	15.3	15.3	0.0
唐木田・中沢・山王下	57.1	42.9	42.9	21.4	57.1	7.1	21.4	21.4	21.4	14.3	35.7	14.3	64.3	28.6	7.1	7.1

※1位：白抜き文字、2位：濃い網掛け、3位：薄い網掛け

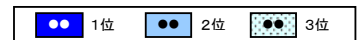


図 2-5 居住地別の市民または地域団体が、今後、より主体的に取り組んでいく必要のあるまちづくりの分野（政策）（市民アンケート問 2-1×問 1-2）

1 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

《政 策》 市民一人一人が生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせるまち 【健康・医療】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体,事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が健康に留意し、自発的に運動にはげむ。好きなスポーツを見つける。体を動かすことを忘れないようにする。 ・積極的に健診を受ける。周囲の人にもすすめる。 ・近所とのつきあいや地域団体との交流・参加を通じて、自分も周りの住民もともに快適に過ごせる住環境をつくってゆくように心がける。 ・自分の趣味を見つける。自分の興味は何か模索する。 ・文化・スポーツのサークル活動に参加。健康づくり講座等に参加しスポーツ参加意識を高める。 ・食べる物の栄養バランスをもっと勉強。ライフステージに応じた食育の推進 ・独居老人の見守り・援助・相談・話し相手 ・地域の独居老人調査とプライバシーに配慮して、隣近所への情報公開 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や経験を持つ人が、知恵と力を貸して、施設や運動の場、方法を教える。 ・健康診断や健康に関するセミナーの実施 ・健康づくりのための地域活動の具体的推進（生活習慣病予防のノウハウの伝達、コンテスト開催など） <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療体制の充実 ・健康への啓発活動や情報提供 ・無農薬の物を仕入れて割安になるようがんばって欲しい。
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、生きがいづくりのため、文化・スポーツ活動を推進。情報提供の推進 ・運動の施設の宣伝PR、充実した管理、運営、メニュー・指導者の提供 ・気軽に参加できるスポーツのイベントの提供 ・健康づくりイベント・スポーツ大会・トレーニングの指導 ・ウォーキング、健康講座など企画 ・地域のまつりやイベントのあるごとに健康教育などPR ・医療体制の強化・医療施設の充実・医療費助成制度の充実 ・かかりつけ医の必要性、定期健診の重要性を広報等でアピール ・定年後の男性のひきこもりが多いので、色々な機会と刺激を与え、ひきこもりを防止 ・市民が健康な生活を送れるように地元で取れた新鮮な野菜が買える場所を多くする。

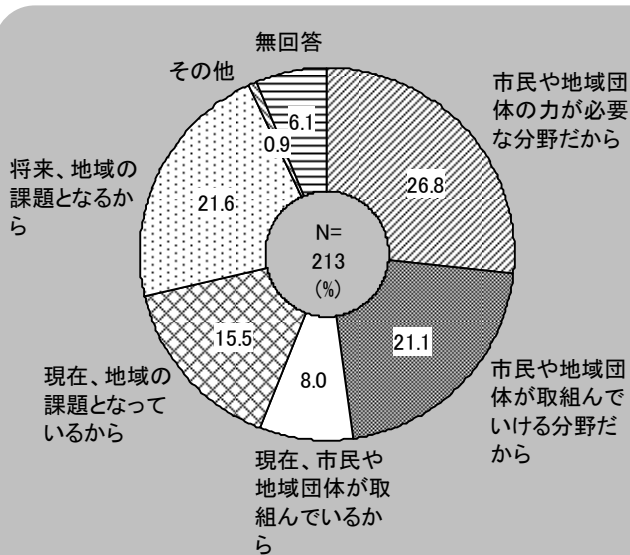


図 2-6 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1 つ))

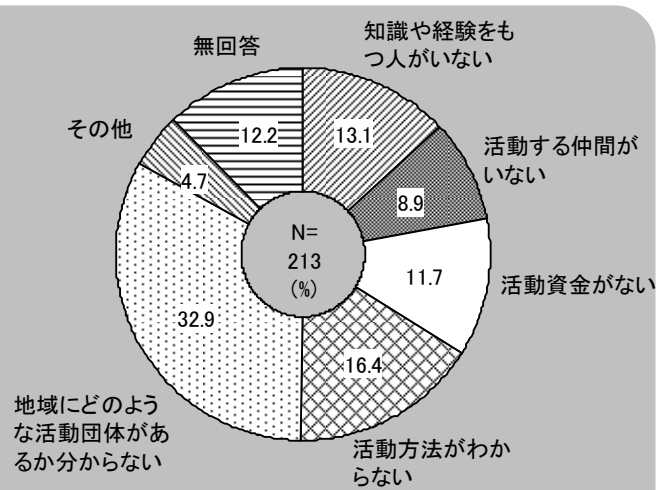


図 2-7 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1 つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しく体力保持 ・暮らしに役立つ学習会を毎月 1 回実施
今後取組んでいく 予定の活動 または 今後取組んでいき たいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・食育講習（食のバランス・薬膳料理等） ・引きこもりがちな高齢者への食事会、お楽しみ会
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ —

1 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

《政 策》 だれもが安心して暮らせるまちづくり 【地域福祉】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none">・近隣への関心・近所とのコミュニティを結成し、情報交換を頻繁に行えるようにする。・地域の小・中学校を活用して、地域福祉活動への支援、参加を推進する。・ケアマネージャー、民生委員及び近隣住民の声かけが大事・挨拶励行 「一声かけ」実施・市民による地域福祉活動への支援と参加の推進・気軽に集えるミニ公園の整備・市内のパトロール、声かけ等 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none">・電話相談や地域新聞などで、相談を受けつける。・学校などでボランティア活動を多く取り込む。・福祉サービスを必要とする人をサポートする。 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none">・一人暮らし高齢者の見回り
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none">・一人暮らしの高齢者の人数、住所を把握する事が大切・障がい者の方達の病気・障害度を隣人達に知らせる。・支援可能な一般市民と支援を必要とする市民とを結びつけるような組織づくりが必要・コミュニケーション機会を数多く企画・活動組織のバックアップ・地域で働く場の確保・企業誘地だけでなく、福祉施設（保育園・学童クラブ・老人ホーム等）を増やして若者が市内に住んで働けるのは最高・社会福祉協議会の役割のPR・民生委員活動のPR

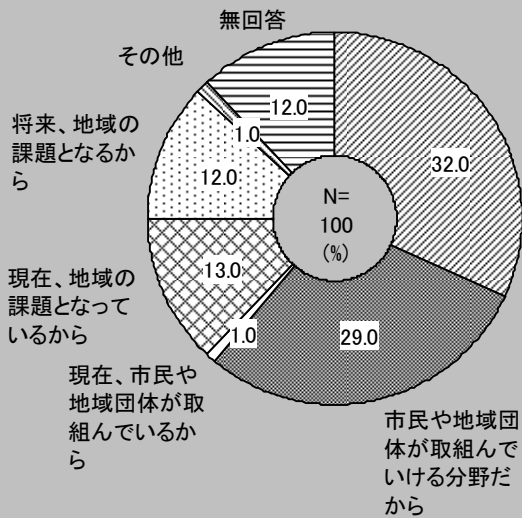


図 2-8 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は1つ))

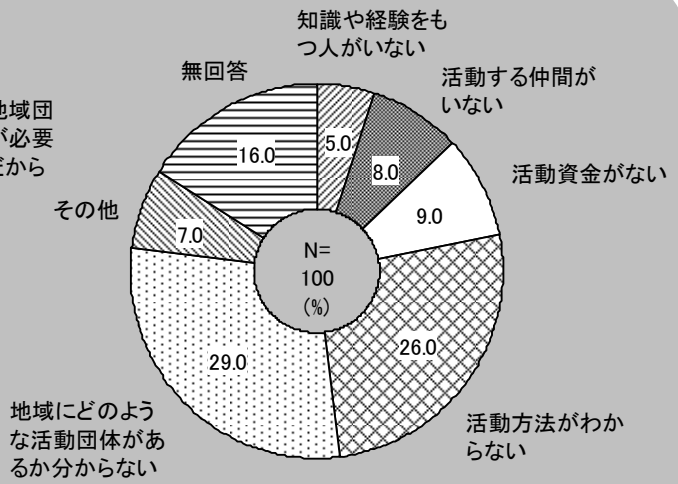


図 2-9 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は1つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニミニデイサービス、福祉なんでも相談などを催し、地域福祉の向上に努めている。 ・住まいとまちの「お困りごとお助けプロジェクト」の推進 ・移動サービス ・世代間交流支援事業（子ども達と高齢者との交流会他）
今後取組んでいく予定の活動 または 今後取組んでいきたいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体による福祉のまちづくりの実現に向けた活動 ・会員の生活実態調査を4年ごとに実施 ・住民にとって有効、有意義な情報の積極的入手と提供。町会役員の各種会議、行事への参加等により情報入手 ・高齢者、特に1人住い、高齢夫婦に対する援助と情報の収集 ・地域住民のささえ合いによる見守りネットワークの構築。消防署より、自治会－消防署とのネットワークづくりの申込みがあり制度化していく。 ・高齢化する住民のニーズ、希望に合った活動の一層の推進 ・高齢者（退職者等）サロン（集会所を利用して） ・異世代交流の企画事業 ・赤ちゃんから高齢者がいつでも集まれる場所（障がいがあるなしに関わらず） ・ちょっとおせっかいをやく自治会、隣近所づくりを制度化（相互扶助） ・地域内での支え合い体制の確立（可能な範囲内で）。買い物補助・通院補助、一人ぐらしの高齢者の見守り等 ・地域福祉推進委員会の組織化
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・調査（アンケート・実態）をするにあたり、個人情報保護法が重荷となる（理解を得るのに時間を要す）。 ・役員が毎年変わるので、専門の世話役がどうなるかが問題 ・高齢化等により、町会脱会者が増加傾向にあり、地域全体として取り組むのに支障が出ている。 ・場所・責任者（リーダー）・協力者の確保が難しい。 ・地域における多様化する福祉ニーズへの対応 ・住民主体による事業を実施するための財源確保

1 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

関連する分野 【社会保険】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体,事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none">・個人が健康に留意する。(食事、運動等)・生活習慣の健診の受診・健康保険料の納付 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none">・より良い介護サービス事業体制にする。 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none">・ -
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none">・どの人にも平等に保障をしていく。・子ども医療費 18 歳まで無料・高齢者、障害者の無料(医療)・デイケア、老人ホーム等、必要に応じて保障・特定健康診査等基本指針及び特定健康診査等実施計画を定める。・医療と介護保険制度の適正な運営・医療保険制度の適正な運営・安心感のある介護サービスの提供

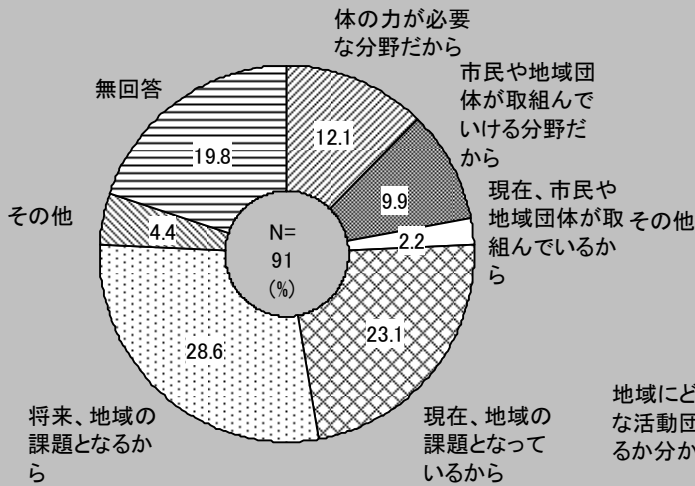


図 2-10 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1 つ))

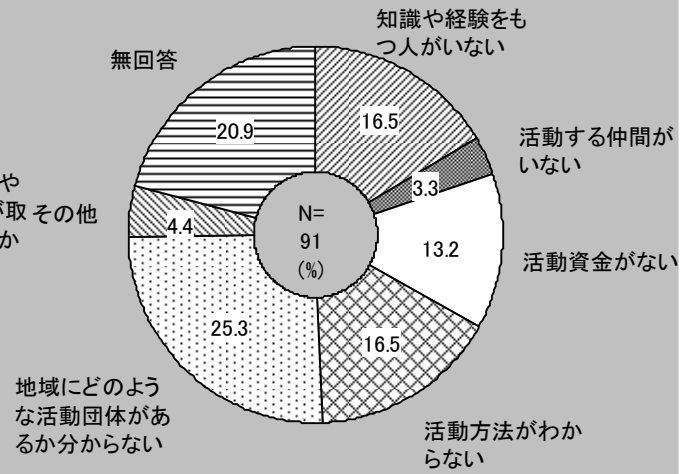


図 2-11 市民または地域団体が取組んでい
く上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1 つ))

(2) 市民団体アンケート

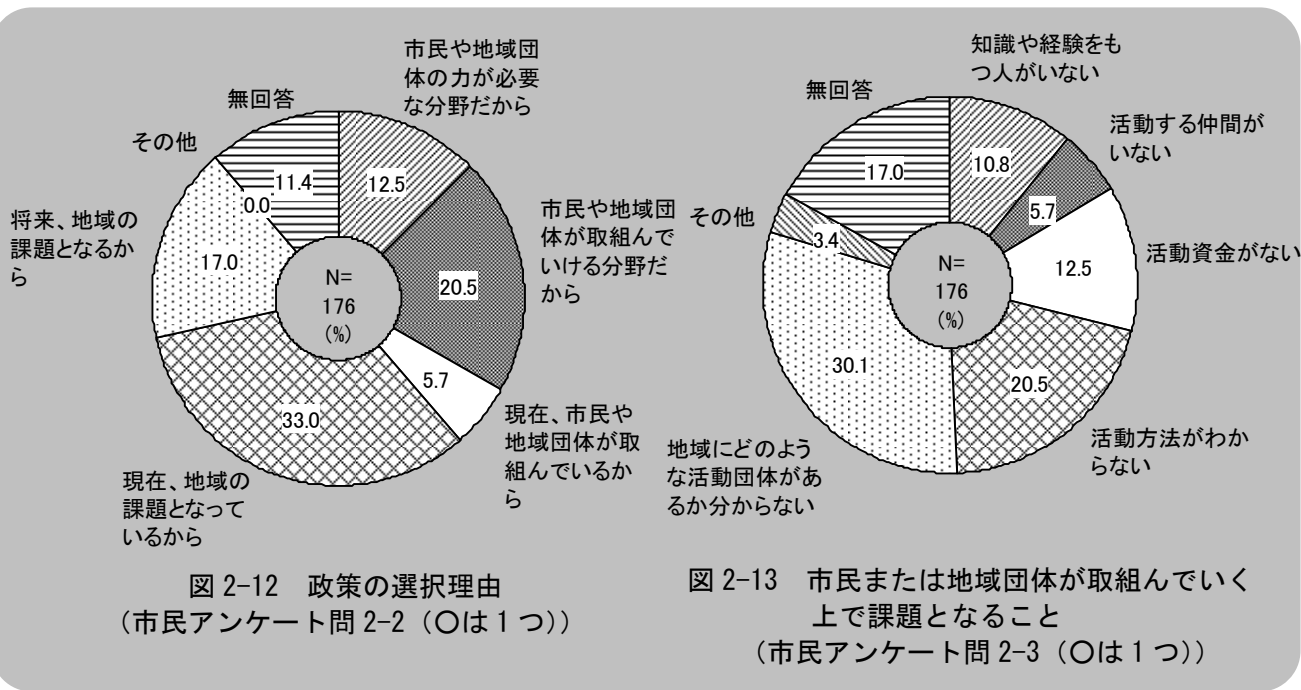
現在の活動内容	・ —
今後取組んでいく 予定の活動 または 今後取組んでいき たいと考えている活動	・ —
取組む上での課題	・ —

1 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

＜政 策＞ 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり 【高齢福祉】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p>＜市民＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣を見直し、健康維持に努める。 ・高齢者や認知症に対する、理解を深め、地域での見守り、支援等。支援のための拠点組織づくり ・市民は、理想の高齢者像について意見を発表する。高齢者である市民は、高齢者自身の現状を発表する。 ・団体地域でお互いの顔が見える、そして、いざという時には支え合える人間関係をつくるための組織づくり。あいさつを交わす等、意識して声をかけあう。 ・高齢者は自身の健康を考え、スポーツ（ウォーキング他）をし人との交流を多くする。 <p>＜地域団体＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防方法、体操などの充実 ・独居老人等への心掛け、見守り強化を図る。 ・大学の講座開放。教養セミナーの開催。趣味の発掘 <p>＜事業者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護サービスの充実（家族の精神的負担軽減） ・移動スーパーのようなものがあれば、老人が集うきっかけになる。 ・高齢者にも仕事を与える。 ・高齢者の現状調査に基づき、高齢者が参加できる事業を考え事業化
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護が必要になった人の援助、施設整備等の促進 ・特別養護老人ホームや認知症グループホームなど介護サービス施設整備の促進 ・見守り、支援など市民、地域団体を密にする。 ・高齢者の交流の場を設ける。 ・小さな単位（例えば小学校の跡地等）に交流のできる場所をつくる。地域の人が管理する。 ・介護職員の質の向上を図る。健康管理の徹底と個々の意識の向上を図る。 ・高齢者が利用する交通機関・施設など調査し、バリアフリー化 ・エレベーター設置の推進 ・公共交通機関の充実（バスの本数などもっと増やせたら良いと思う） ・安全な緑地と休憩のためのしっかりとしたベンチなど。 ・段差がないなど、歩きやすい街づくり ・高齢者のくらしについての調査をし、市民にフィードバックする。



(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者交流支援事業 ・地域福祉推進委員会で活動中。サロンすずめのお宿 ・高齢者を中心とした談話会（年2回開催） ・高齢者の見守りと交流 ・高齢化する住民へ行政サービス等の情報提供 ・訪問介護サービス事業、 ・自立援助サービス ・高齢者等への食事提供 ・無農薬・低農薬により生産された生鮮食品及び加工品の宅配サービス事業 ・生きがいづくりのための文化活動の実施
今後取組んでいく予定の活動 または 今後取組んでいきたいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のこれからのあり方で、家に居ても安心して暮らせるよう、地域、自治会で何をして上げられるか。 ・地域高齢者交流支援事業（いきがいデイサービス） ・世代間交流支援事業 ・引きこもり高齢者に外へ出ていただけるような楽しいラウンジなど、エリア内に設けたい。 ・高齢者の具体的な見守り（非常に多い） ・いきがいセミナー事業 ・福祉相談サービス事業、生活相談活動・他団体との連携 ・介護予防支援事業およびミニグループハウス事業 ・在宅支援のための事業、生活サポート ・高齢化に伴い、独居者に対する対策
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第一に、財源が著しく乏しい。 ・自治会加入は任意。そのため近頃、無関心が目立ち活動資金が減る一方 ・事業継続のための安定した収益事業の開発 ・人的マネジメントの構築とボランティアマネジメント ・福祉活動等推進メンバーの確保 ・他機関との連携についてのシステム化

1 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

＜政 策＞ 障がい者が自立して暮らせるまちづくり 【障害福祉】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none">・障がい者への理解（障害者をもつ家族含む）、声かけ・仕事への教育支援・障がいを持っている人が困っている時、声をかけられるように、学校でも訓練の場をつくる。・障がい者同志が気楽に集まるサークルづくり。 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none">・地域で障がい者（大人も子ども）の活動できる場を増やす。 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none">・グループホームなどの施設を増やす。・訪問看護ステーション、ホームヘルパー事業所の増設及び質の向上・障がい者の雇用、障がい者が集える場所の提供・障がい者のためのグループホームの設置・障がい者が単身生活をできるような住宅の提供
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none">・障がい者への支援体制を充実・支援人材の育成・障がい者が生活しやすい環境を整える。・障がい者が暮らしやすい住まい、共同住宅の提供及びそのような設備への補助金・作業場など、障がい者が働ける場を増やす。・福祉・医療・教育・雇用の支援と充実・バリアフリー対策・学校教育で障がい者と触れ合う機会を制度化する。

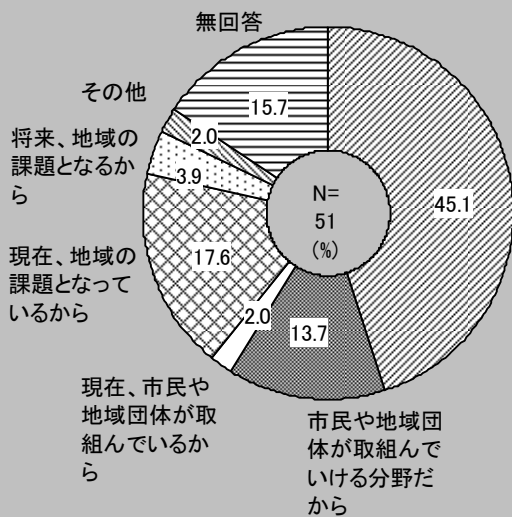


図 2-14 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1 つ))

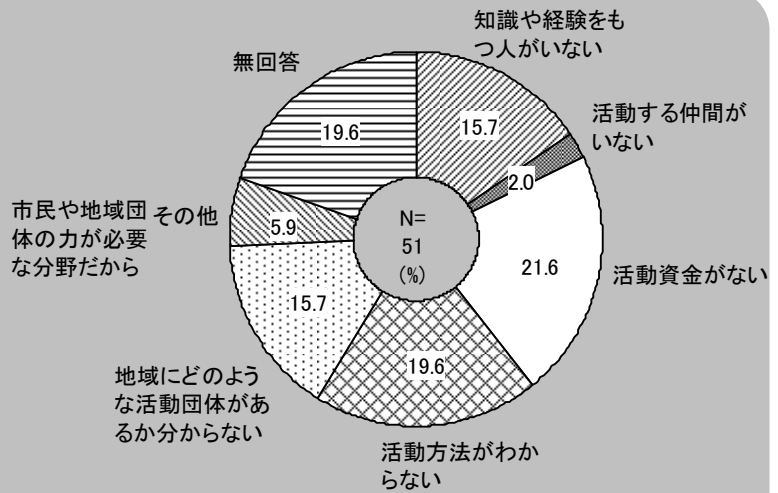


図 2-15 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1 つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の自立に向けて、生活支援、個別相援支援、人間関係の改善など自立を助長していく ・ 障害者自立支援法に基づく事業、訪問介護サービス事業 ・ 売店ひまわりの運営・障害者訓練施設アートひまわり運営 ・ 個人依頼の音訳資料の制作、視覚協だより発行 ・ 聴覚障がい者理解のための手話入門講座 ・ 多摩市社会福祉協議会との共催による補聴器の相談会 ・ 障がい者のための美術講座と創作教室「みんなのかんたん芸術講座」、障害者美術展 ・ 音楽家を招いてコンサートを開催、障がい者リハビリのための「書道教室」開催 ・ 知的障がい者児の外出時における介護事業、精神障がい者退院促進支援事業 ・ 児童の障がい者理解の行事「ひとときの和」への協力 ・ ふれあいスポーツ大会、講演会、研修旅行、新年のつどい ・ 新人ボランティア育成のための「ボランティア研修会」への協力
今後取組んでいく 予定の活動 または 今後取組んでいき たいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援の拡充 ・ 音訳、編集の新しい情報を勉強したい ・ 利用者が情報を得るための再生器機もどんどん小型化し、進歩してきている。ボランティアが知識を得るための勉強する場を設けたい。 ・ 利用者とボランティアの交流の場をもうけたい。 ・ 各関係機関との連携の強化、就労支援 ・ 家族支援の充実 ・ 障がい類似体験と講習 ・ 障害者が暮らしやすい環境づくり ・ NPO法人として障がい者のための働く場の前に実習出来る場所を造りたい ・ 売店ひまわりの障がい者顧用の拡大 ・ アートひまわりでの高次脳機能者の受入拡大、訓練日の増加
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアに新しい情報をとりいれたいという気持が少ない気がする。 ・ ボランティアの高齢化 ・ 多摩市は場所があるようでない。いつも場所探して苦労している。

2 いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち

〈政策〉 安全で、安心して暮らせるまち 【防犯、防災、交通安全】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール、夜間の見回りなど。不審者がいた際の通報 ・ 防犯情報を知り、防犯意識を高める。 ・ 災害時の行動などを家族で話し合い、準備 ・ 居住地区での防災訓練に積極的に参加し意識を高める。 ・ 助け合うまちづくり。弱者（老人・子ども等）をいたわる気持を持つ。 ・ 防犯や防災のネットワークづくり。地域行事に参加し、仲間を作る。 ・ 自治会を中心に地域単位で防災訓練を行う。 ・ 災害時の個々の食糧・水などの備蓄 ・ 車の運転の仕方の見直し。 ・ 近所とのコミュニケーションを密にする。コミュニティへの参加。 ・ 「自助」「共助」「公助」の意識 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯・防災情報を一般の人へ広く知らせる機会を増やす。 ・ 防災訓練をより参加しやすい形に工夫する。防犯意識の啓発活動 ・ 団体や事業者は仲間づくりのイベント開催 ・ 災害時のマニュアル作成 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的なパトロール実施 ・ 災害時に備え、建造物の耐震、耐火性能を高める。
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪が潜みやすい暗い通りなどを徹底的にチェック、情報提供 ・ 不審者情報のタイムリーな情報公開 ・ 防犯面での危険箇所の整備、防犯灯・監視カメラ設置等のインフラ整備 ・ 犯罪多発地点及び交通事故多発地点の徹底的な原因分析と対策 ・ コストはかかるが交番の設置場所を増やす。警察のパトロールを増やす。取締りを強化 ・ 自転車に対する交通安全意識の啓発。自転車専用レーン等 ・ ワンワンパトロール、自治会の防犯パトロール等、市全体で現在推進中の取り組みをさらに強化して、広報等で活動報告してアピール ・ 避難経路を明確にし、マップとして配布 ・ 災害時の避難場所の周知 ・ 各地区別災害時の対応マニュアルの周知、徹底（行動指針、避難場所、緊急時のマニュアル等）

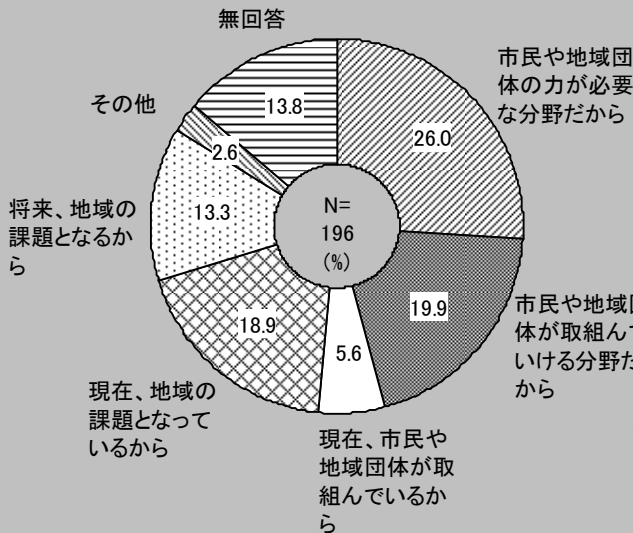


図 2-16 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (〇は1つ))

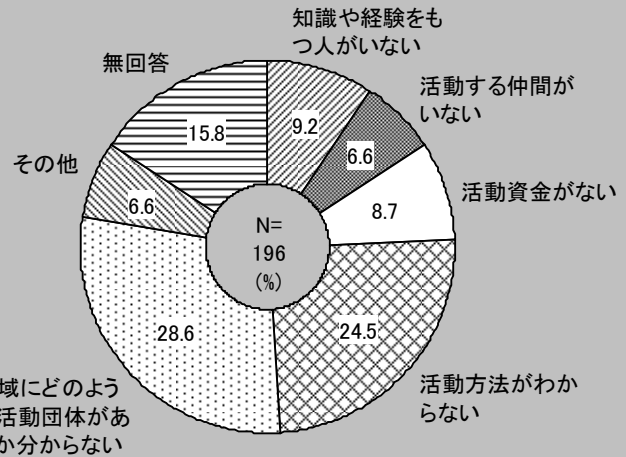


図 2-17 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (〇は1つ))

(2) 市民団体アンケート

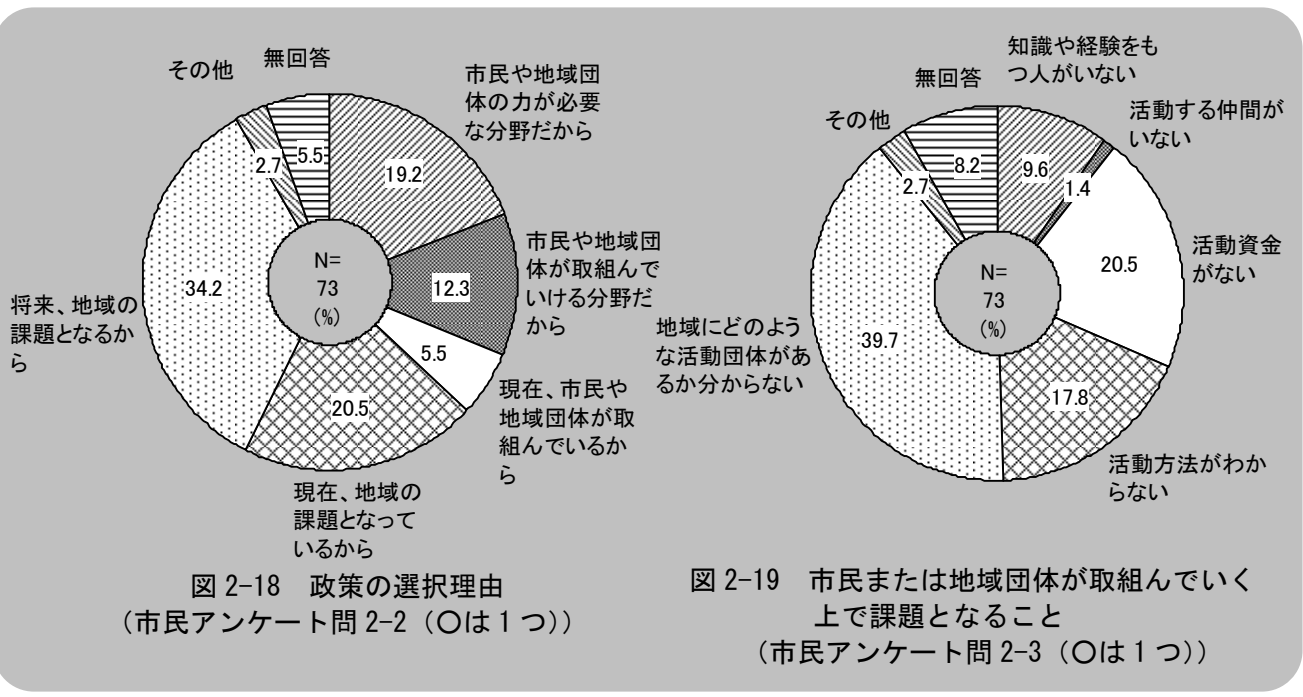
現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール、年数回の「夜まわり」、子ども達の見守り ・防犯防災啓発（こども110番、メールサービス） ・広報「おちあい」各戸配布で情報の共有 ・年1回開催の「防災訓練」 ・自主防災組合をつくり防災訓練など行なっている。防災マニュアル作成中 ・災害時の地域活動に関するOJT（要援護者登録希望者を実施） ・災害に強い自治会づくり（生活実態調査） ・団地内の駐車・交通安全
今後取組んでいく予定の活動 または 今後取組んでいきたいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション居住中の独居高齢者、子どもの見守り活動 ・地域ぐるみの防犯ネットワーク導入を検討中（カメラ監視） ・地域のコミュニティ活動の推進、防犯・防災活動の拡充 ・防犯対策として町民の意識向上。見知らぬ人への声かけ運動、近辺での異状に対する相互監視活動（ガラスの割れる音に対し、発生源の確認と、時により警察への通報）等 ・防災組織の地域連携活動。住民同士の交流を深めるための活動 ・4町会（近隣）での大規模な合同防災訓練の実施 ・合同で出前講座（民生委員、包括支援センター、自主防犯・防災組織、社協サロン／地域懇談会）開催を要望中 ・住民のコミュニケーションレベルをひきあげたい。 ・災害時、要援護者の台帳の充実（連絡カードの作成） ・高齢者の支援、見守りなどを組織的に行なえるようPR ・災害時の小児、高齢者の救出方法の確立と、被害状況の把握 ・マンション相互の共助組織と近い病院、特養との共助活動の協定（主として災害発生時の相互支援活動）
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の支援マニュアルは当然本人への意志確認や、自治会への情報提供が課題 ・協力者が少ない。高齢化、資金 ・AEDの訓練習熟しているが、肝心のAED装置がマンションにない。 ・市役所、警察署、消防署協力をお願い ・参加していただくことの難しさ。 ・集会所使用料が高いので頻繁に会議ができない。

2 いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち

〈政策〉 安心して快適に暮らし、移動できるまち 【都市づくり、住宅、道路交通】

(1) 市民アンケート

市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none">・ 公共施設をきれいに使う。・ 交通マナーを守る。・ 自動車の利用から、徒歩・自転車・バス利用を高める。 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none">・ レンタサイクル（電動自転車）の実施・ ウォーキング啓発活動のさらなる充実・ ニュータウンの建替に関するノウハウの共有 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none">・ 騒音や建物景観への配慮・ ニュータウンの再生の推進
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・ 住環境の整備によって、若者の永住指向を促し、「このまちで家庭をもち、子どもを育て、年老いていく」・ ニュータウンの建替に対する助成の強化・ 交通バリアフリーの推進・ 歩道、遊歩道の補修・ 尾根幹線への自転車専用レーンの設置・ レンタサイクルへの補助・ 駐輪場無料化・増設（駅近く）・ 自転車に乗る人達に交通安全教育の徹底



(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の管理、維持、植栽活動、住民の安全確保。生活環境の維持改善 ・街の美化推進・地域ぐるみで支え合える地域に ・交通アクセスの利便性の追求 ・街の景観を改善する創造技術を修得して、ボランティア活動に役立てる。 ・公園の清掃等ボランティア等NPO活動 ・多摩ニュータウン再生に向けた独自の調査・研究
今後取組んでいく 予定の活動 または 今後取組んでいきたいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩ニュータウンを成熟都市としてブランド価値を上げるための方策検討 ・交通アクセスの利便性の追求 ・多摩ニュータウンに残る未利用地や遊休資産を活用したまちづくりの推進 ・近隣センターのこれからのあり方と実現に向けた働きかけ ・築 30 年以上過ぎ高齢化が進む分譲集合住宅の再生の一環として、管理組合を支援し、住宅以外に必要な施設や機能を付加していくなどの取り組み ・公団・都営・公社などの公的賃貸住宅の地域主体の管理運営への移行実現 ・幹線道路を楽しく安全に歩ける街並みの形成のために、沿道の斜面地などの低未利用地を緑と調和した建物などにより有効活用 ・分譲マンションの修繕積立金など地域に眠っている資金を、地域のまちづくりやすまいづくりに有効に活用できるファンド等の仕組みづくり ・生活実態に合わなくなった住まい内部の改善等へのコーディネート ・タウンハウスなどの多摩ニュータウンの集合住宅が、昭和 40 年代から平成にかけて様々な先駆的な試みがあり、その価値・意味を後世に伝える活動 ・階段が多く、それをクリアすべく、スロープの設置
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な活動資金の確保・財政基盤の確立 ・活動を担う幅広い(専門領域、年齢層など)専門家、人財の確保 ・現在行政が担っているまちづくりに対して、NPOが正規のパートナーシップ協定などにより責任と権能を持って協働参画できる条件の整備 ・住民コミュニケーションの維持、充実

3 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち

〈政策〉 子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり 【子育て・子育て】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域で子ども育てる」という意識をコミュニティごとに根付かせ、子育て家庭の安心、安全の一助としたい。 ・地域の子供達が安心して過ごせる様に見守る。子育て中の親への理解。子ども達への理解（話し合い） ・となり近所、周囲で声をかけ合う、一人ぼっちの子育てをなくす。 ・男女の子育て意識の共有と向上に努める。 ・お母さんが子どもを預けて安心して働けるシステム作り、保育ママの増員。自宅開放。子育て中の悩み相談 ・高齢者による子育て支援、子供を預けるおばあちゃん世代と若妻世代の交流、情報交換 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口、組織を作り、気軽に相談できるようカウンセラー等の充実 ・子ども、親が参加できるイベントをもっと増やす（運動会、ソフトボール等） ・母親、父親同士の意見交換の場の創出 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の新設、時間外保育の充実、病児保育施設の増加 ・商店街や大型商業施設に赤ちゃんを一時預かる「赤ちゃんサロン」を常備 ・相談相手や子どもの体験学習の場の提供
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのビジョンが描けるような環境をつくる。 ・子どもが生き生きと育つ環境をつくる。 ・団地に若者を入居しやすくする。 ・保育園・幼稚園・児童館・図書館などの充実。子育て情報・相談の窓口の充実 ・小児科（病院）を増やす。（産婦人科も） ・通学路の整備を推進 ・子どもが安心して遊べる場所の整備 ・働く母親への経済的支援、雇用支援。就労と子育ての両立支援を強化 ・子育て支援の内容や情報の積極的な公開 ・子育てをする家庭間のネットワークを整備 ・待機児童（保育園）へ減らすため、保育園や家庭福祉員を増やすよう努める。 ・親同士が交流出来る場所の提供・カウンセラーの育成 ・地域団体、市民が活動できる支援体制の充実

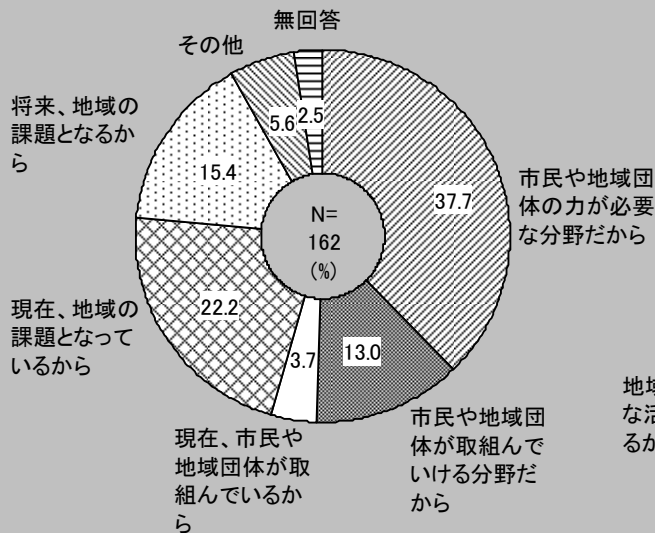


図 2-20 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (〇は1つ))

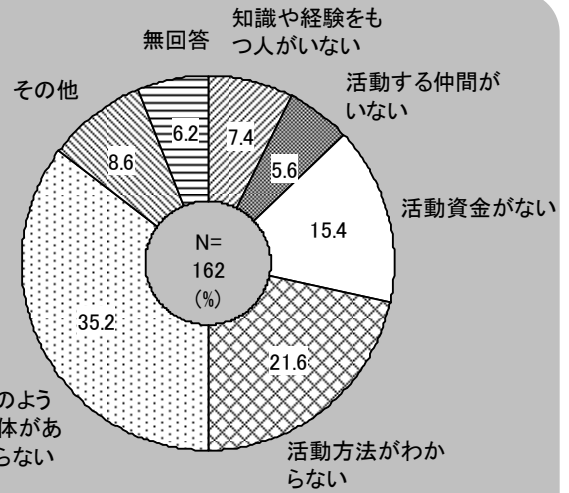


図 2-21 市民または地域団体が取り組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (〇は1つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭サポーター派遣 ・赤ちゃんのタッチケア in そらいろ広場の開催 ・講座保育 (TAMA 女性センター、関戸公民館、家庭教育学級) ・自宅への訪問保育、グループの集団保育 ・ひとり親家庭ホームヘルプサービス ・季節の行事の開催 (キャンプ、運動会、どんと焼など)
今後取り組んでいく予定の活動 または 今後取り組んでいきたいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成 ・子どもたちが安全にすごせる環境をつくっていく活動を強化していきたい。 ・団地の空室を利用した「おうち保育園」0歳～2歳の保育 (ただし、駅近くの団地であること) ・家庭的な環境で、小人数のよさを生かした保育がしたい。 ・子どもたちが、地域コミュニティ貢献できる場をつくる活動 ・小学生以下の子どもの活動拠点づくり ・幼児をかかえている家庭の支援 ・学習障害児 (LD) ヘマルチメディアDAISYの教科書製作などの支援 ・自治会との連携し「地域の子どもたち」意識を共有したい
取り組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保・活動拠点の確保・活動資金の確保 ・学区の自由化のために団地内の児童は複数の公立学校に通っている。交流がなく拠点づくりができない ・支援を必要としている児童の調査 ・ボランティアの養成

3 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち

＜政 策＞ 人と学びを未来につなぐ教育の推進 【教育】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の持っている知識、技術を提供。他の人に提供できるノウハウを公表 ・子ども達に、絵について、本について、小説について、勉強について、遊びについて、多様な文化・教育をプロの人が教える場 ・私的塾なども積極的に行う。学校外活動を推進させる。 (例) スポーツクラブの運営。書道教室の運営。アウトドア活動を活発化させる。 ・近所に住む各国の人々と積極的に交流を図り、子ども達にも世界文化を知るチャンスをつくる。 ・家庭での役割(道徳・躾)は家庭でしっかりする。 ・豊かな人格形成のために子どもに様々な経験をさせる。(農業体験や外国人との交流など) ・小学生の放課後活動の支援(スポーツ・補習など) <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々が積極的に学校教育に参加、共に育てるスタンス ・分野ごとに精通した講師を呼び、セミナーを定期的に関く。 ・子ども達とスポーツや社会体験等で一緒に汗を流せる場を設ける。 ・子どもが元気に安全に遊べるような場所の提供。どこにどんな公園、施設があるのか、親にも情報を提供 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の食育への協力 ・職場体験の受け入れ
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で、30人学級の推進。少人数クラスで目の行き届いた教育を ・特別支援教育の充実 ・教育相談の充実 ・経済的問題への支援。施設の充実 ・学校、地域の連携を充実(相談員を増やすなど) ・学校と地域が連携して、問題解決や企画を推進するような、仲介役のしくみをつくる。 ・「教えたい人」、「教えてほしい人」の両方がマッチングできる仕組みをつくり市民に提供 ・学校行事の中で市民も参加できるようなイベントを増やす。 ・学校をもっと市民に開放して、設備を有効利用する。 ・教育、スポーツ活動を活性化する環境づくり ・中学校の部活動の充実

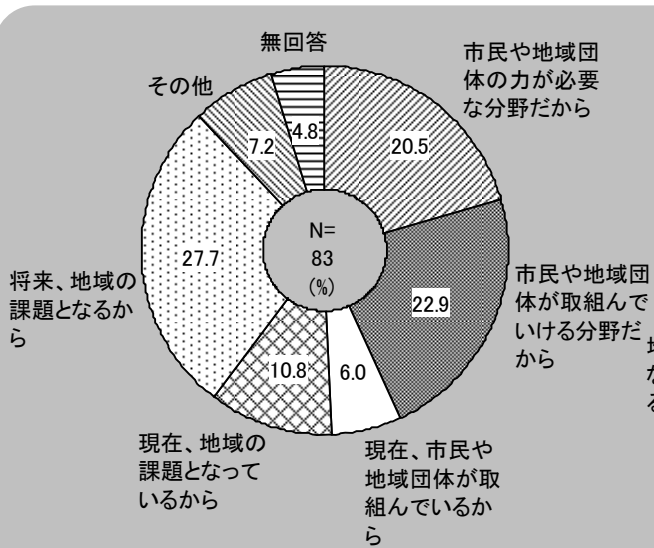


図 2-22 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1 つ))

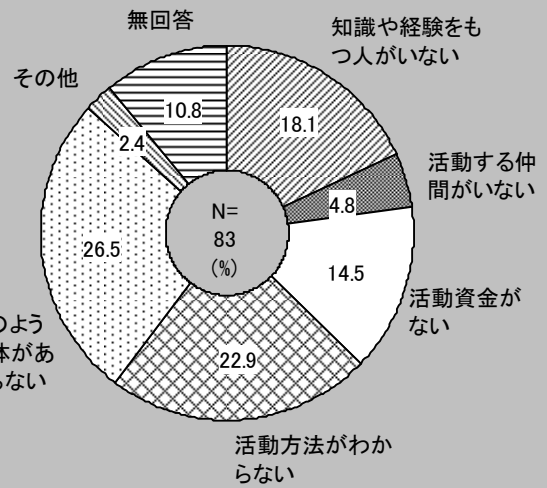


図 2-23 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1 つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の総合的学習等での手話指導 ・中学校、高校、大学のクラブにおける手話指導 ・学校トイレ等の清掃業務 ・家族と地域の教育力の向上を目指した啓発事業（あいさつ運動など）
今後取組んでいく 予定の活動 または 今後取組んでいき たいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の学童教育の場への大量参加を促進する仕組みが必要 ・地域の高齢者と青少年の交流の場をつくりたい
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保 ・余裕のない学校の教育現場

4 みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち

〈政策〉 地域で支え合い、暮らせるまちづくり 【市民活動・コミュニティ・生涯学習】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体、事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動により、人と人とのつながりをつくる。 ・多摩市は、マンションが多く若い人たちが比較的多いので、もっと皆が参加してなにかをなしとげるイベントをつくる(たとえば花を植えたりとか)。 ・一人一人が地域の担い手の意識をもつために防犯・防災の知識をもつように努める。結果として地域のコミュニティを保持する。 ・高齢者の方などとの積極的な交流を図る(地域イベント等への参加)。 ・居住地周辺での挨拶運動の推進(顔見知り、知人を増やす) ・市民活動への積極的な参加 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動の復活 ・市民主体の地域づくり、活動に参加できるような機会と場をつくる ・参加者拡大のための呼びかけの実施 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・—
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な市民活動、生涯学習の情報を提供する(PR)。 ・市民が主体的に活動できる機会、場を提供する。 ・リーダーの養成講座などは行政の役割 ・体育館等のサークル使用料を安くする。 ・消防署、警察署による救急活動、防犯活動の講習の機会を増やす。 ・市民団体や企業との連携によるイベントの開催 ・近所の人が集まって楽しめる会場の提供 ・各年代の人々が集える場をつくる。 ・情報提供→情報発信のメディアの多元化 ・市民が集まって活動できる場の整備、管理 ・活動の成果を発表する機会をつくる。 ・地域でコアになる学校やコミセンの機能を利用して、住民同志の交流を推進するように支援 ・企画を実行する上での情報の提供及び資金援助 ・大学や企業等と連携したまちづくりの推進活動に参加できる機会と場に積極的に参加し、学んだことを社会に活かせるような仕組の整備

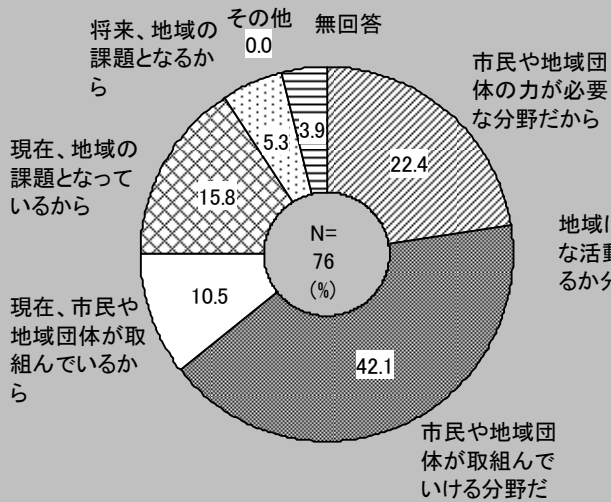


図 2-24 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は1つ))

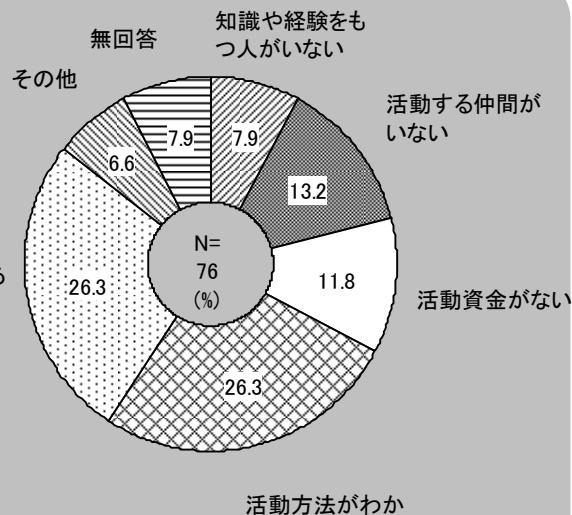


図 2-25 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は1つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民交流活動 ・あいさつ運動、地域パトロール、教育研修会、スポーツ大会、どんど焼き、キックベースボール大会、多摩ソバづくり、中学生中心の地域清掃活動、納涼盆踊大会、コンサート、寄席など ・広報紙発行（年4～5回） ・地域融和と共助システムの構築準備（住民アンケート済） ・ボランティア活動
今後取組んでいく予定の活動 または 今後取組んでいきたいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域盆踊り大会の継続、発展 ・具体的デティールとして年間を通じ、団地内清掃と市民清掃（11月）の参加、お祭り（7月）、5自治会の連携したラジオ体操（夏休みのみ）、敬老の日のお祝い（9月）、おもちつき（12月）、10自治会によるドンド焼（1月）、防災訓練（2月）、生き生きサロン（毎週土曜日） ・地域のコミュニティの形成（夏祭り、階段ごとの懇親会など） ・高齢者と近隣者のコミュニケーション促進。今後は、内容充実、参加者拡大 ・地域在住の青少年と大人との交流の場の設営 ・一人住いの高齢者の把握と対応（連絡カードの作成） ・60才以上の参加の生き生きサロンの活性化 ・災害時の小児、高齢者の救出方法の確立と、被害状況の把握 ・孤独死の早期発見の方法 ・自治会員を増す（現在50名） ・高齢者の集りを多くもちたい。 ・高齢者に対する支援活動（上層階居住者のゴミ出し、買物など） ・プライバシーを尊重、遵守しながら、近隣の交流を増進すること。
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保・活動拠点の確保・活動資金の確保、コミュニティ意識の希薄化 ・町内に公園、小中学校、コミセンもないため会員を集めての活動に支障がある。 ・協力者が少ない。 ・組織の若がえりと、さらなる人的補強 ・高齢化が進み、経費負担も限界、何をするにもお金が掛かる。 ・高齢と思われる人も、支援を断るケースもあり個々の対応が難しい。

4 みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち

《政策》 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり 【文化、スポーツ、交流】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなスポーツ、芸術を諸グループの活動に参加し、楽しむ。 ・文化、芸術、スポーツ活動に積極的に参加し地域の人に伝えていく。 ・いろんなジャンルに触れる機会の充実 ・個人の文化活動とともに市の文化行事にできるだけ参加する。 ・芸術家の卵を育てるような場をつくる。多摩映画祭を盛り上げる。 ・地区対抗のソフトボール大会の開催等 ・地域文化を知るお年寄や、地元で長く生活している人を、小学校などに呼んで、子ども達と世代間の交流をする。 ・自分たちが住んでいる地域に愛着がもてるように、多摩市の歴史に触れる機会をもち、考える。 ・みんなで楽しめそうなレクリエーションのアイデアを出しあう。 ・早朝ラジオ体操会の発足等により、地域での健康推進活動に参画 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料で英語（会話）交流の場を提供 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文化事業に対して援助
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、文化、芸術、スポーツに触れる機会の充実 ・文化財の所在地とその由来のPR。そしてその保護。また、そこに関するイベントをしてまちの活性化につなげる。 ・きちんとスポーツのできる環境を整える。 ・スポーツ大会の実施の環境整備 ・市民大学のような、文化・歴史・美術・音楽等を勉強する成人向勉強講座の開催 ・世代間交流、地域間交流の推進 ・行政から情報を積極的に配信 ・市民祭を実施 ・各種サークル活動のできる場所の確保提供

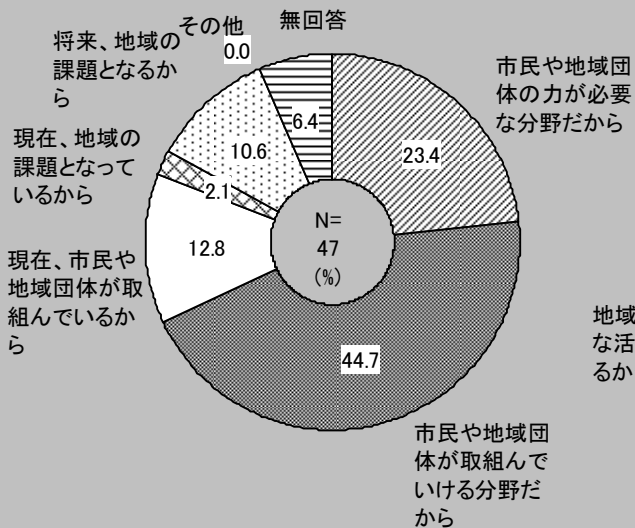


図 2-26 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1つ))

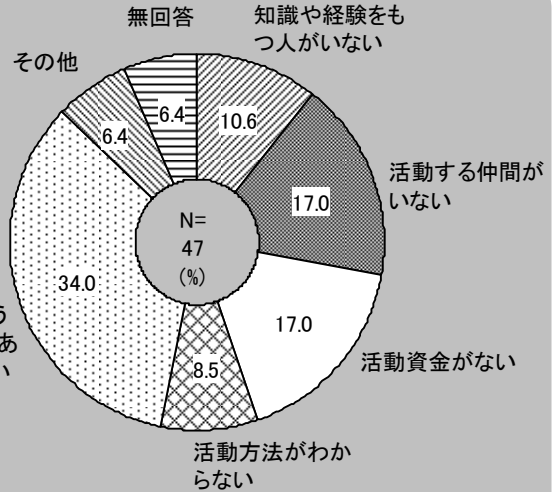


図 2-27 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会、講習会等スポーツ振興に関する事業の実施及び協力 市民に対するスポーツの普及 各種スポーツ指導者の育成・登録及び派遣 スポーツに関する調査研究及び広報広聴活動 スポーツ団体の育成強化及び連絡調整 各種スポーツ大会への選手及び役員派遣 市民スポーツ功労者等の表彰
今後取組んでいく予定の活動 または 今後取組んでいきたいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域力を活かし、スポーツ技術指導者の学校部活支援の新たなシステムづくり 市内体育施設の運営について、さらなるサービス向上を再講築 指定管理制度への取り組み→組織(体制)づくり 各種障害者福祉協会との連携にて、楽しいスポーツの普及(協働) 「福祉の前の福祉」と位置づけ、笑顔で明るく健康な多摩市に貢献するため地域へ赴き、楽しむスポーツの普及 生涯学習推進のため、社会教育団体の実践団体として、さらなる地域力の推進 「だれもが、いつでも、いつまでも」の精神で取り組んでいきたい
取組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> 新たな組織の改革(事業部制)を導入し、対応

4 みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち

〈政策〉 だれもが平等で互いに尊重しあうまち 【平和、人権、男女平等】

(1) 市民アンケート

市民の役割 (地域団体、事業者を含む)	<p>〈市民〉</p> <ul style="list-style-type: none">・地域ごとのコミュニティ施設で、平和の大切さ、差別のない社会、男女平等、等の意味を伝える「語りべ」さんみたいな人により、子どものうちから意識を啓発させていく。・家庭において、男女同権、平等、人権の尊さ、平和の尊さについて話し合い意識を高める。・日本の歴史を家族で勉強・異文化交流を積極的に実施・小学校での教育・何でも言える関係づくり、意見が出し合える職場づくり・町内会での“ご近所助け合い精神”を密にして、一人暮らしの高齢者や子育て奮闘中の若い親御さんなどが孤立して悩み苦労しないよう支えてあげる。 <p>〈地域団体〉</p> <ul style="list-style-type: none">・日本の歴史の勉強、異文化交流の場を提供・意識向上のための文化活動の企画 <p>〈事業者〉</p> <ul style="list-style-type: none">・－
行政の役割	<ul style="list-style-type: none">・平和教育、人権教育の充実を図る。小学校での取り組みをもっと活発にしていく。・男女平等共同参画の啓発、推進・例えば男女平等条例を市がつくって、女性も男性も平等に支えあえるまちづくりを目標として大きくかかげる。公共団体や企業に働きかける。・精神の安定を図るため、時間外労働に対しては行政から注意・格差社会を改善・高齢者・一人暮らし・母子・父子家庭・障がい者を抱える家庭が負い目を感じて生きないといけなような社会にならないよう、個別訪問や金銭面で助けたり配慮をしてあげる。

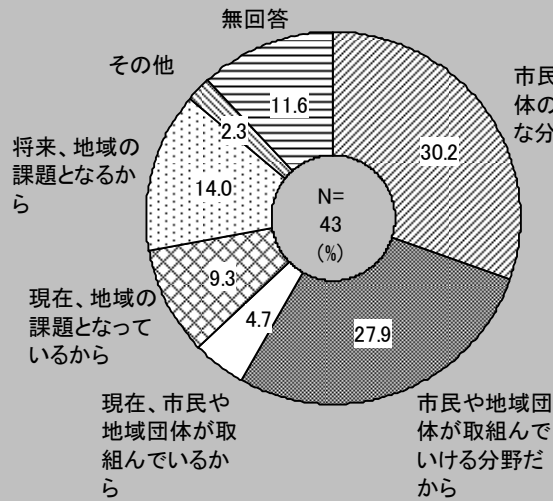


図 2-28 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1 つ))

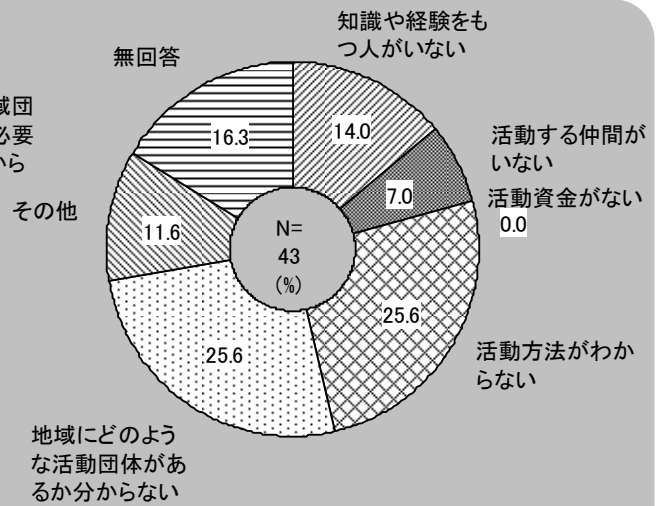


図 2-29 市民または地域団体が取り組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1 つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	・ —
今後取り組んでいく 予定の活動 または 今後取り組んでいき たいと考えている活動	・ —
取り組む上での課題	・ —

5 働き、学び、遊び、みんなが活気と魅力を感じるまち

《政策》 人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまち 【産業振興、雇用、観光、都市農業】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で買物を楽しむ。消費は市内で。地元商店の利用 ・身近な場所での就労 ・楽しい集まり（イベント）を実施。他の地域の人にも来てもらえる魅力あるまちにしよう。 ・観光面で郷土史家などの協力での多摩市内の史跡等のクローズアップ（文献・史実の調査） ・市民一人一人が、多摩市ブランドの担い手であることの自覚 ・市外からの客に対するやさしさ、サポートの意識の形成 ・ビジネスのアイデアを出しビジネスモデル、企画を考える。 ・農地活用、農業体験の場を利用して、自給自足の時代に備える。 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化 ・地域での雇用の創出と確保 ・観光客・買物客に対応する案内所の運営 ・小・中学生への農業体験のサポート <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の雇用、地域の特性を生かした事業展開、事業努力 ・市内での雇用の創出と確保、地域に合った魅力ある店づくりを推進 ・働きたい人に仕事を用意するシステム（人材バンク）をつくり、短時間からでも働けるよう細かなニーズに対応 ・企業の社会的貢献、地元民への還元活動の充実 ・レンタサイクル等用意して、おすすめマップを作成。多摩の自然を満喫 ・多摩市ならではのブランド、求心力のある産業、観光を生み出す。例えば、B級グルメのB-1の開催といったイベントを誘致 ・映像産業を積極的に誘致し、多摩市を盛り上げる。 ・農業ができるところをつくる。
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業振興、商店活性化計画 ・企業の誘致、若者の住いと職場の提供、永住できる住環境、職場環境の整備 ・住民同志の交流を支援。他の市町村などと共同して地域の活性化を支援 ・地域商店街の空き店舗に地域団体、市民団体の活動拠点を置けるように助成 ・多摩丘陵の自然を売り出すにはどうすれば良いかという知恵を出す。 ・近隣の市と連携をとって市民行事などを共催 ・市内案内などパンフレットづくり ・多摩の魅力をもっとアピールするような情報発信

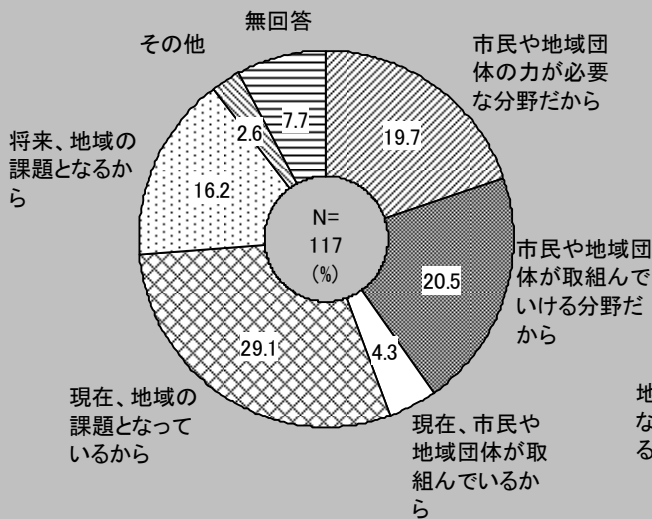


図 2-30 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1 つ))

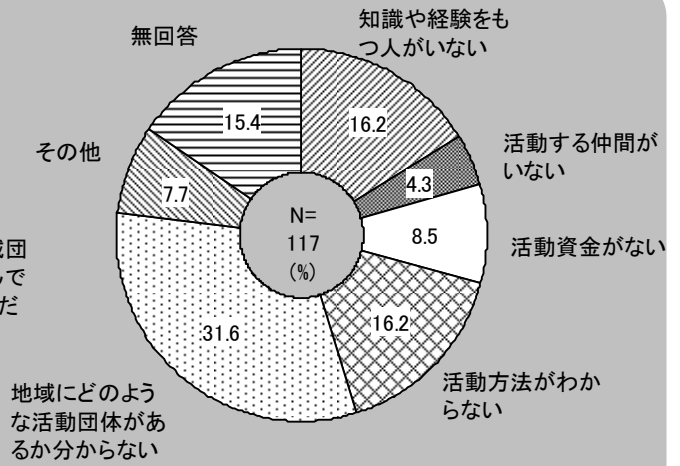


図 2-31 市民または地域団体が取組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1 つ))

(2) 市民団体アンケート

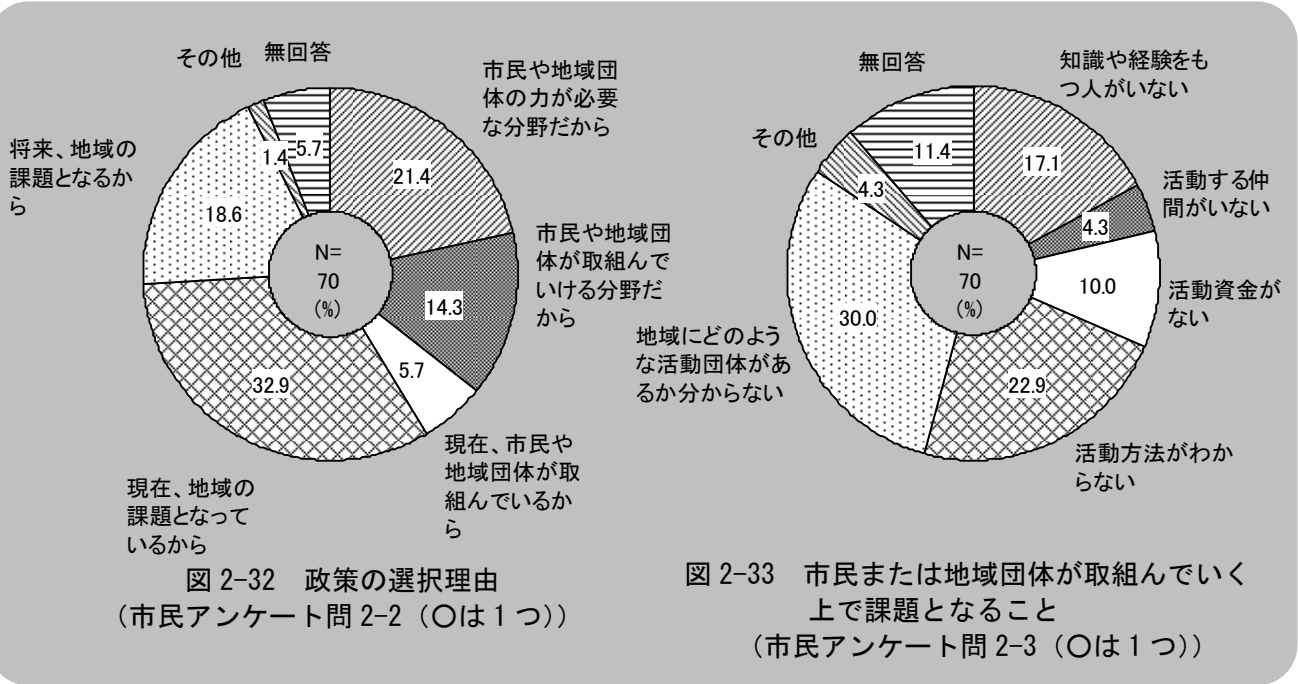
現在の活動内容	・ —
今後取組んでいく 予定の活動 または 今後取組んでいき たいと考えている活動	・ —
取組む上での課題	・ —

5 働き、学び、遊び、みんなが活気と魅力を感じるまち

関連する分野：【産業振興(拠点整備)】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none">・ 雇用環境等の整備・ 夏祭りなどその地域にある伝統的な神社、仏閣などを利用 <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none">・ 本来の街並「美しい多摩市」を取り戻す。(ゴミ回収、樹林保善公園の管理等) <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none">・ リサイクルをもとにした産業を活発化する。・ リサイクル品を持ち込める店を増やす。・ 入場無料のサンリオ商品専門店
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 車を運転しない老人が、気軽に生協必要品などを購入できる地域の商店街が生き残れるような施策・ 企業誘致・ 美術館の設立・ 老人医療の拠点をづくり、一大老人天国になれるような団地に生まれ変わることで、雇用も生れ、魅力ある老人タウンがつかれる。これが社会に向けて売り物となれるようにする。・ 周辺大学の学生が集まるような魅力あるまちづくり・ 歩きやすいまちづくり・ 都心部との格差の減少に努める。・ 商店街振興策を通じた地域活性化



(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	・ —
今後取組んでいく 予定の活動	・ —
または 今後取組んでいき たいと考えている活動	・ —
取組む上での課題	・ —

6 人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち

〈政 策〉 地球と人にやさしい持続可能な社会の構築 【環境】

(1) 市民アンケート

<p>市民の役割 (地域団体, 事業者を含む)</p>	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別を積極的にする。 ・環境認定の商品の購入、レジ袋不要（マイバック等） ・ごみの減量（分別とそもそも不要なものは買わない） ・自転車通勤 ・電気自動車、移動にはなるべく徒歩 ・樹林地や緑地の保全への参加 ・子供のころからのしつけをする。学校やPTAなどで <p><地域団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ分別をもっと分かりやすく、楽しくできる催しを試みる。 <p><事業者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化を図るとともに、自己処理を徹底する。 ・事業地内の緑化に努める。 ・事業活動の環境負荷低減に努める。
<p>行政の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少の頃からリサイクル・エコの精神を身につけるため、幼稚園・保育所などで学習の機会をつくる。 ・太陽光や風力による、発電池等によるエネルギー活用推進（外燈、住宅への促進等） ・ごみ減量、リサイクルに関する具体的情報をもっと頻繁に提供する。 ・環境問題に関する映画会や学習会を学校や地域のコミセン等で定期的に関く。 ・駐輪場無料化・増設（駅近く） ・市内の自転車共同使用 ・公共バスの増便 ・車にひかれたタヌキや巣からおちた稀少鳥類を獣医院に持ち込んだ場合の「里山保険」を創設。財源は広く市民、事業者の寄附を募る。 ・市内に残る土地活用。緑地の保全 ・代々畑を守って次世代に継承している世帯主には、特別手当や何らかの“メリット”を感じるしくみを考えて、「土地を売り宅地に」等の思いを抱かないようサポートする。 ・市内に残る貴重な里山・緑地を守りぬく将来の子ども達に残せるようより一層保全の予算を取る。廃校になった後の土地を大災害に備えて公園にする等、市を挙げて自然を残すよう努める。

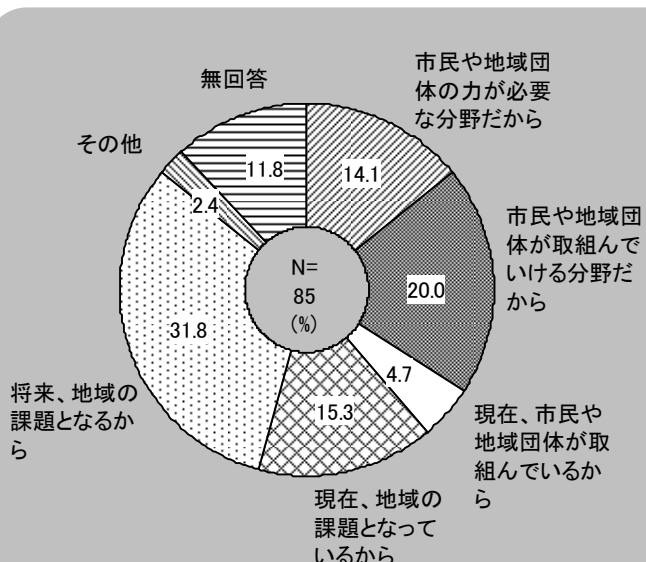


図 2-34 政策の選択理由
(市民アンケート問 2-2 (○は 1つ))

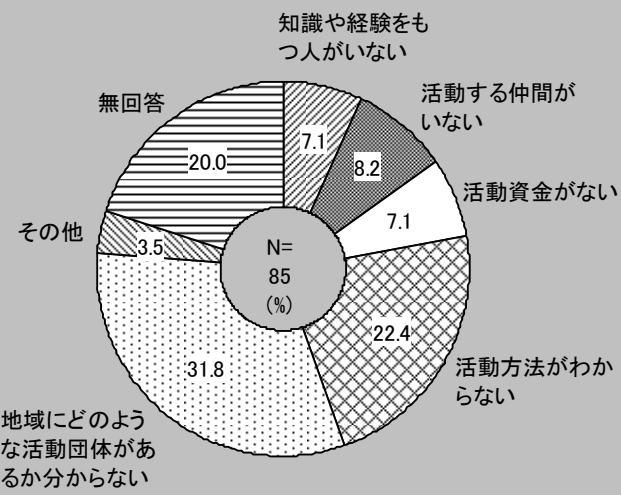


図 2-35 市民または地域団体が取り組んでいく上で課題となること
(市民アンケート問 2-3 (○は 1つ))

(2) 市民団体アンケート

現在の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全。公園・当敷地内の緑化（さらなる保安全管理） ・2ヶ月毎の「大栗川周辺の清掃」 ・山野草観察と試食会、バードウォッチング、花壇造成などにより、市民の自然環境への関心を深めるとともに憩いの場の提供をしている。 ・東永山複合施設地内法面（梅林）の管理 ・ゴミ減量。分別の推進。集団ゴミ回収。リサイクル品の共同売りわたし ・鶴牧西公園果樹の谷管理 ・団地内及び団地の緑化推進及び自然環境の維持アップ ・省エネサポートデスク、出前サポートデスク ・エコスクールへの公開授業 ・省エネモニター募集 ・打ち水
今後取り組んでいく 予定の活動 または 今後取り組んでいき たいと考えている活動	<ul style="list-style-type: none"> ・共感を持っている人とグループをつくる。 ・朝のラジオ体操などで知りあい、人間関係の育成を考える。 ・住民同士の交流を深めるための活動 ・花壇づくり、公園、廃校法面の草刈りボランティア ・公園利用者等の参加を得たボランティア ・高齢者、障がい者宅の庭の剪定ボランティア ・鶴牧西公園内田園の復活 ・エコで健康的な住環境の整備 ・ごみ減量の実践 ・市役所、ベルブ永山、ヴィータコミュニネで省エネサポートデスクを置き、省エネの情報提供を行い、啓発活動を行う ・エコスクールの小中学校で公開授業を行う
取り組む上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保・活動拠点の確保・活動資金の確保 ・ボランティアニーズの紹介システムの整備 ・鶴牧西公園内の田園への水供給の保障。田園として利用できるように整備 ・市の基本計画の中での環境保全の取り組みの一環として複数年で各家庭に省エネ診断を行うなど、具体的な事業を継続することが望ましい。

参考資料 市民および市民団体アンケート調査票

第五次多摩市総合計画策定にかかる市民アンケート 調査票

《ご記入にあたってのお願い》

- 1 宛名のご本人がお答えください。
- 2 ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
- 3 記述式の設問に答えるときは、枠の中に具体的な内容を記入してください。

ご記入いただきました調査票は、10月20日（水）までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

I. あなた自身のことについてお聞きます。

問 1-1 あなたの年齢は、おいくつですか。（○は1つ）

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

問 1-2 あなたのお住まいの地区は、次のどこですか。（○は1つ）

- | | | | |
|------------------|----------------|--------|-----------------|
| 1. 関戸・一ノ宮 | 2. 連光寺・聖ヶ丘 | 3. 桜ヶ丘 | 4. 東寺方・百草・落川・和田 |
| 5. 貝取(1~5丁目)・豊ヶ丘 | 6. 愛宕・乞田・貝取 | 7. 永山 | 8. 馬引沢・諏訪 |
| 9. 鶴牧・落合・南野 | 10. 唐木田・中沢・山王下 | | |

Ⅱ. まちづくりの担い手の役割についてお聞きします。

多摩市では、今後、問2-1に記載した15の政策を進めていきたいと考えています。これらの政策を実現していくためには、様々な主体がまちづくりの担い手となって、それぞれの役割を果たしていくことが望まれます。その中でも、今後は、市民や地域団体の役割がより一層重要になると考えられます。

問2-1 市民または地域団体が、今後、より主体的に取り組んでいく必要のあるまちづくりの分野（政策）を、次の中から**5つ以内**で選び、回答欄に番号を記入してください。

- 1 子どもを産み育てることがうれしいと思えるまちづくり【子育て・子育て】
- 2 人と学びを未来につなぐ教育の推進【教育】
- 3 市民一人一人が生涯にわたって健やかでいきいきと暮らせるまち【健康・医療】
- 4 だれもが安心して暮らせる支え合うまちづくり【地域福祉】
- 5 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり【高齢福祉】
- 6 障がい者が自立して暮らせるまちづくり【障害福祉】
- 7 安心を支える社会保険制度の運営【社会保険】
- 8 地域で支え合い、暮らせるまちづくり【市民活動・コミュニティ・生涯学習】
- 9 地域文化をはぐくみ、多様な交流のあるまち【文化、スポーツ、交流】
- 10 だれもが平等で互いに尊重しあうまち【平和、人権、男女平等】
- 11 人々が集い、働く 魅力あふれるまち【産業振興、雇用、観光、都市農業】
- 12 住みやすく、にぎわいと活気にみちたまち【産業振興（拠点整備）】
- 13 だれもが安全で、安心して暮らせるまち【防犯、防災、交通安全】
- 14 だれもが安心して快適に暮らし、移動できるまち【都市づくり、住宅、道路交通】
- 15 地球と人にやさしい持続可能な社会の構築【環境】

政策実現に向けた具体的な施策等は、別紙「基本計画の目標体系(案)9月30日時点」をご参照ください。

問2-2 政策の選択理由を、次の中から**政策ごとに1つ**（あなたの考えに最も近いもの）を選び、回答欄に番号を記入してください。

- 1 市民や地域団体の力が必要な分野だから
- 2 市民や地域団体が取り組んでいける分野だから
- 3 現在、市民や地域団体が取り組んでいるから
- 4 現在、地域の課題となっているから
- 5 将来、地域の課題となるから
- 6 その他 ※その他を選んだ場合は、欄に具体的な内容を記載ください。

問2-3 市民または地域団体が取り組んでいく上で課題となることを、次の中から**政策ごとに1つ**を選び、回答欄に番号を記入してください。

- 1 知識や経験をもつ人がいない
- 2 活動する仲間がいない
- 3 活動資金がない
- 4 活動方法がわからない
- 5 地域にどのような活動団体があるか分からない
- 6 その他 ※その他を選んだ場合は、欄に具体的な内容を記載ください。

<回答欄> 選択肢の番号を記入してください。

	記入例	選んだ政策	選んだ政策	選んだ政策	選んだ政策	選んだ政策
→ 政策	4					
	↓	↓	↓	↓	↓	↓
→ 政策の 選択理由	2 その他	その他	その他	その他	その他	その他
	↓	↓	↓	↓	↓	↓
→ 課題	5 その他 きっかけ がない	その他	その他	その他	その他	その他

問2-4 問2-1で選択した政策を進めていく上で、市民（地域団体、事業者を含む）と行政は、それぞれどのような役割を担っていくべきだと考えますか。
 問2-1から問2-3の回答を踏まえて、まちづくりの担い手の役割分担を記入してください（思いつく範囲で結構です）。

〈記入例〉

政策番号・名称	15 地球と人にやさしい持続可能な社会の構築【環境】
市民の役割 (地域団体,事業者を含む)	<p>〈市民〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車の利用を控えて、徒歩や自転車、公共交通機関の利用を高める ・ ごみの分別を徹底し、ごみの減量化を図る ・ 環境問題や保全等の取組みに関心を持ち、環境学習会や講座、シンポジウム等に参加して環境意識を高める <p>〈地域団体〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の資源集団回収に積極的に取り組む ・ 樹木の保全や公園の管理に協力する ・ 地域で環境学習会を開催するようにする <p>〈事業者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの減量化を図るとともに、自己処理を徹底する ・ 事業地内の緑化に努める ・ 事業活動の環境負荷低減に努める
行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの適正処理とリサイクルの促進、ごみの減量・リサイクルに関する情報提供を推進する ・ 地域の植生に配慮し、市内に残る樹林地や緑地の保全を促進する ・ 環境問題についての環境学習と身近でできる環境保全活動について学習できる機会を提供する

〈選んだ政策〉

政策番号・名称	
市民の役割 (地域団体,事業者を含む)	
行政の役割	

〈選んだ政策〉

政策番号・名称	
市民の役割 (地域団体,事業者を 含む)	
行政の役割	

〈選んだ政策〉

政策番号・名称	
市民の役割 (地域団体,事業者を 含む)	
行政の役割	

〈選んだ政策〉

政策番号・名称	
市民の役割 (地域団体,事業者を 含む)	
行政の役割	

〈選んだ政策〉

政策番号・名称	
市民の役割 (地域団体,事業者を含む)	
行政の役割	

IV. 基本計画に関するご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

アンケートは、以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

【お知らせ】多摩市公式ホームページで総合計画の情報がご覧いただけます。
(<http://www.city.tama.lg.jp/>)

総合計画 検索

「総合計画」でも検索できます。

「市の取組・予算」の 카테고리の中に、総合計画の情報が掲載されています。総合計画のページには、第五次総合計画の目的、市民参画事業の取組み、今後のスケジュールなどが掲載されています。ぜひご覧ください。

第五次多摩市総合計画策定にかかる市民団体アンケート 調査票

ご記入いただきました調査票は、10月24日（日）までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

多摩市では、今後、別紙「基本計画の目標体系(案)9月30日時点」に記載した15の政策を進めていきたいと考えています。

これらの政策を実現していくためには、様々な主体がまちづくりの担い手となり、それぞれの役割を認識し、その役割を果たしていくことが望まれます。

別途、11月6日(土)・7日(日)に開催する市民ワークショップでは、今後のまちづくりの担い手〔市民（地域団体、事業者等を含む）と行政〕の役割について、市民の方の目線でご議論いただく予定です（詳細は多摩市公式ホームページをご覧ください）。

本アンケートの目的は、地域団体、市民団体の皆様から共助による取組みについて伺い、その結果を市民ワークショップにおいて共助の役割を考える上での参考にするとともに、今後の基本計画の策定に活かしていくことです。ぜひご協力をお願いします。

自助：自分の責任で、自分自身が行うこと

共助：自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと

公助：個人や周囲、地域あるいは民間の力では解決できないことについて、公共（公的機関）が行うこと

I. あなたの属している団体のことについてお聞きします。

問1-1 団体の名称、目的、構成人数、現在の活動内容を教えてください。

団体の名称	
団体の目的	
構成人数	
現在の活動内容 (箇条書き)	

Ⅱ. あなたの属している団体の今後の取組みについてお聞きします。

問 2-1 現在の活動のほかに、今後取組んでいく予定の活動、または取組んでいきたいと考えている活動があれば教えてください。

問 2-2 問 2-1 の取組みを進めていく上で、課題となることを記入してください。

<回答欄>

今後取組んでいく 予定の活動 (箇条書き)	
今後取組んでいき たいと考えている活動 (箇条書き)	
取組む上での課題 (箇条書き)	

Ⅲ. 基本計画に関するご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは、以上で終了です。ご協力ありがとうございました。